

所属名	事務事業名	ページ番号
道路管理課	道路維持補修事業	2
道路管理課	自歩道照明灯LED化事業	3
道路管理課	未就学児等の交通安全緊急対策事業	4
道路管理課	放置自転車等対策事業	5

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	道路維持補修事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	道路管理課・維持係・管理係	担当課長名	中村 明弘
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	12道路ネットワークの充実	
	基本事業	生活道路の整備による快適で安全な移動の確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	道路補修・維持管理を行うことにより、市道路利用者に安全かつ快適な道路環境を提供することを目的とする。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	道路パトロールや自治会、市民等から得た情報等で道路の舗装、側溝、護岸等の維持補修を行っている。そのほか街路樹、道路付属物、除雪等を業務委託で維持管理している。緊急を要する現場や小規模補修は施設管理センター（直営）で対応し、規模の大きい補修、専門的な補修は請負工事、業務委託で対応している。また市道、法定外道路の機能管理及び財産管理、市道の廃止・認定、告示及び道路台帳調整保存、道路の境界確認、道路敷きの寄付受納、市道の管理瑕疵に起因する事故対応業務等を行う。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	727,348				
うち佐賀市の負担額	606,648				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市内の道路等を快適で安全に通行できていると感じる市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
59.9	64.4	64.7	65.0	65.3		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
道路状況の把握、補修等についてスピード感をもって対応する。業務全般の効率性、迅速性についての改革意識を持って業務を遂行していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	自歩道照明灯LED化事業	事業期間	令和2～令和5年度
担当部署・係名	道路管理課・維持係	担当課長名	中村 明弘
総合計画における位置づけ	政策	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	施策	09地域で守る生活者の安全確保	
	基本事業	交通安全の推進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	老朽化した自歩道照明灯をLED照明器具に交換することにより、歩行者及び自転車利用者等の安心安全な通行を確保するとともに、灯具の長寿命化及び電気使用量の削減を図り、道路ストックの効率的な維持管理に寄与する。				
事業の対象者	市民（歩行者、自転車利用者等）				
令和2年度 主な活動実績	自歩道照明灯の蛍光灯をLED照明灯に交換する。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	163,445				
うち佐賀市の負担額	81,945				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
自歩道照明灯のLED化率（100%目標）						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
75	80	90	100			

  

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等
R5年度LED化事業完了を目指し、国へ予算要求を行う。

# 令和3年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	未就学児等の交通安全緊急対策事業	<b>事業期間</b>	令和 2 ~ 令和 3 年度
<b>担当部署・係名</b>	道路管理課・維持係	<b>担当課長名</b>	中村 明弘
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	<b>施策</b>	09地域で守る生活者の安全確保	
	<b>基本事業</b>	交通安全の推進	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	未就学児の交通安全緊急対策（令和元年6月18日関係閣僚会議決定）を踏まえ、道路管理者、保育施設、対象施設を所管又は担当する機関、地元警察が連携し合同点検を行い、点検結果に基づき安全対策を実施する。				
<b>事業の対象者</b>	未就学児等				
<b>令和2年度主な活動実績</b>	未就学児が日常的に集団で移動する経路等から抽出された危険箇所のうち、対策が必要となった箇所について、防護柵やカーブミラー等の設置を行う。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	24,441				
うち佐賀市の負担額	12,341				

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
安全対策済み箇所数						箇所
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
31	32					

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
関係機関との連携を行いながら、引き続き計画通りの進捗を図っていく。

# 令和3年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	放置自転車等対策事業	<b>事業期間</b>	平成 5 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	道路管理課・管理係	<b>担当課長名</b>	中村 明弘
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	災害に強く、安心で利便性が高い暮らしが実感できるまち	
	<b>施策</b>	12道路ネットワークの充実	
	<b>基本事業</b>	生活道路の整備による快適で安全な移動の確保	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	○平成5年4月から放置自転車等の一掃を目指した「佐賀市自転車等の放置防止に関する条例」を施行した。 ○通勤通学者の自転車・バイク利用の放置の防止及び利便性の向上を図るため、平成5年3月末に、佐賀駅周辺(3か所)に自転車駐車を整備(合計収容台数3,162台)。また、平成16・18年度には、放置自転車が多い佐賀駅前の2か所(南北市道上)に路上駐輪機154台を設置した。				
<b>事業の対象者</b>	市民(自転車等利用者)				
<b>令和2年度主な活動実績</b>	○会計年度任用職員が巡回を行い、口頭指導や警告札や注意札を対象車両に添付している。 ○放置された自転車等を撤去し、一定期間、引取りがない場合は、再利用またはスクラップ処分している。 ○市内の各学校に対し、駅周辺の自転車放置禁止区域や自転車駐車場利用について文書により周知。 ○毎年4月に警察官OBで組織される団体(警友会)へ自転車等の利用者に対する街頭指導を委託。 ○佐賀駅東自転車駐車場ほか4か所の自転車駐車場を指定管理者制度で管理する。				
<b>決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	15,000				
うち佐賀市の負担額	15,000				

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
自転車駐車場の利用率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
81.4	92.8	93.8	94.8	95.8		

成果指標②						単位
放置自転車等の警告数						台
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
700	1,500	1,450	1,400	1,350		

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
<p>現行以外に生活安全課実施の(自転車の利用者への早朝街頭指導時)や指定管理者において(自転車駐車場の利用者)にチラシを配布するなど自転車等利用者のマナー向上を図るための啓発活動を行うことで放置自転車等を防止する。</p> <p>なお、成果指標のR2実績値は新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛等の影響を受けた数値であるため、R3からは新型コロナウイルス拡大前の水準を前提に取組を進めていく。</p>